

愛知淑徳学園創立120周年 記念祝典・コンサート

2025年6月18日、「愛知淑徳学園創立120周年記念祝典・コンサート」を日本特殊陶業市民会館フォレストホールにて開催しました。在校生や卒業生が出演し、母校への思いにあふれる華やかなステージをつくり上げました。



ご挨拶

小林 素文 愛知淑徳学園学園長



開会に際して、小林素文学園長が挨拶を述べられました。「戦前・戦中・戦後と幾多の困難な時代を背景にして、生徒・学生たちが光り輝く舞台が絶えることなく続いてきた120年に及ぶ月日は、まことに尊く、重みがあります。学園の歴史を築いてくださったすべての方にお礼申し上げます」と心からの謝意を伝えるとともに、「これからも『伝統は、たちどまらない。』の姿勢を貫くことにより、一歩一歩、着実に、誠実に、歩んでまいります」と次の10年先、20年先に向けた決意を述べられました。

1部

歴史をたどる ～映像と音楽とともに～



厳かに幕を開けた祝典・コンサート。テレビ朝日アナウンサーの林美沙希さんが総合司会を務め、在校中の思い出にも触れながらスムーズに進行させました。

1部では、高校演劇クラブと宝塚歌劇団・元星組男役の鶴美舞タさんが共演し、退職された高橋よしの前中学副校長による脚本の演劇「ここにひめて」を上演しました。生徒への温かなまなざしが表れた本作品。制服の変遷や校舎の移転、学校行事などの歴史をたどり「同じ制服を着ていても、私は私。一人ひとり思いは違う。力をひめて、生きる」といったメッセージの数々が届けられました。学園祭のミュージカル部門が始まった時代の

シーンでは、鶴美さんの歌やダンス、バントワリングの華麗な演技に、客席が一段と大きく沸きました。

続いて、世界的なシンガーソングライターである八神純子さん、フリーアナウンサーとして活躍の服部恭子さん、中高合唱クラブ、中高ギター・マンドリンクラブが共演。八神さん作詞・作曲の東日本大震災復興支援チャリティー・シングル「翼」を合唱し、八神さんと服部さんが熱心に取り組む被災地支援活動や中高生徒も参加したチャリティーコンサートの映像が上映されました。たくさんの方の思いが歴史を築き、今につながることを感じさせる、心を打つハーモニーが会場を包みました。

今、輝く卒業生 ～八神 純子 ライブ&トークステージ～

「淑徳ブルー」の衣装に身を包んだ八神さんが、透き通るように美しいハイトーンボイスを響かせました。大井剛史さんが指揮を務め、名古屋フィルハーモニー交響楽団とピアノストの宮本貴奈さんが演奏し、八神さんとの豪華な共演も実現しました。また、2部では服部さんが司会を務め、同級生である八神さんと楽しいトークを披露。クラブ活動や校訓、校則などのエピソードを交え、ステージを盛り上げました。

ライブの曲目は「Mr.ブルー 〜私の地球〜」「思い出は美しすぎ」」「TERRA-here we will stay」「みずいろの雨」「パープルタウン」「明日の風」。在校中から国内外のコンテストで高い評価を受けた八神さんは、卒業後、本格的に音楽活動をスタートさせ、数々の名曲を世に送り出しました。結婚を機にアメリカに拠点を移した後も、日本を代表するシンガーソングライターとして輝き続けています。

ラストを飾った「明日の風」の曲紹介にて、マラソン大会の思い出を語った八神さん。「高1のとき、

大会翌日から高熱で3日間休み、高2からは欠場。走れなかったことを、心のどこかで引きずっていました。マラソンには縁がないと思っていましたが、この30年間、毎日ジョギングをしています。辛くても頑張り続けると、自分力がつくのだと感じています」と話し、一步を踏み出すこと、努力を継続することの大切さを、後輩である生徒たちに伝えました。



10年先、20年先へ ～名古屋フィルハーモニー交響楽団ステージ～

名古屋フィルハーモニー交響楽団によるステージでは、情熱的なスタイルでオーケストラを率いる大井剛史さんが指揮を務め、3部後半には中高管弦楽クラブが夢のような共演を果たしました。

演奏されたのは、学園創立100周年を記念して北爪道夫さんが作曲した「愛知淑徳学園祝典序曲」、『ブラームスのヴァイオリン協奏曲の第3楽章、ドリーヴのバレエ音楽「ツペリア」抜粋、チャイコフスキーの交響曲第4番の第4楽章。ヴァイオリン協奏曲は卒業生であるヴァイオリン奏者・牧野葵さんによる独奏で、しなやかで清々しい音色が客席の方々を魅了しました。全曲にわたってそれぞれの美しいメロディーに、学園の歴史と未来への希望が重なり、いつまでも鳴りやまない拍手が感動の大きさを表していました。

フィナーレでは、中高各クラスの代表生徒43人と卒業生の方々が舞台上に並び、さらに客席の方々も立ち上がって、愛知淑徳学園校歌をオーケストラに合わせて合唱しました。会場が一体となって響かせた歌声は、一人ひとりの心に深くしみわたりました。



学園が積み重ねた120年の月日を尊び、愛おしみむひとときとなった、記念祝典・コンサート。会場には中高の全生徒、中高・大学の教職員、ご来賓の皆さまなど2000人以上が集まり、動画サイトでのライブ配信で合計1200人以上が視聴するなど、大勢の方々が節目の年を共に祝いました。ここからまた、淑徳晴れの輝かしい日々が未来へとつながっていくことでしょう。